

# 山口大学FDワークショップ

学士課程教育における学修成果測定について学ぶ  
—ルーブリック開発を目指して—

## 【趣 旨】

中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』(2012年8月)では、教育プログラム共通の考え方や尺度(「アセスメント・ポリシー」)に則って評価し、その結果をプログラムの改善・進化につなげるという改革サイクルが回る構造を定着させることが必要とされ、その具体的な測定方法を明確化にすることが求められています。

本学では、大学教育学会における課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」との連携により、今年度新設科目『山口と世界』を対象として、新たな学修成果測定の開発を進めることとしました。学習評価研究をリードする京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代教授をお招きし、アセスメント・ポリシーの構築やルーブリック開発の具体について、参加者とともに理解を深めたいと思います。

日時

**2014 年  
3 月 5 日 (水)  
13:30～ 17:00**

場所

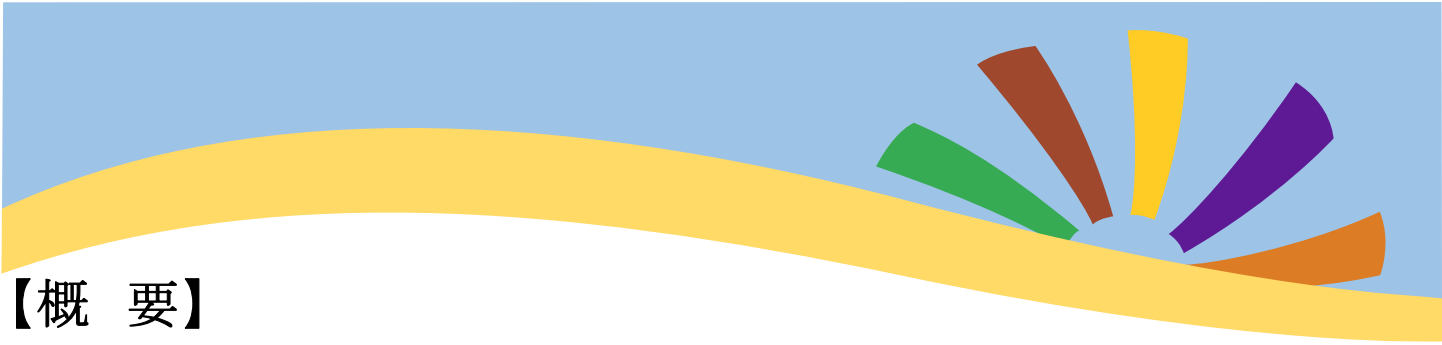
**大学会館2階  
会議室**

対象

**本学教職員**

【申込方法】 件名「FDワークショップ申込」とし、「①氏名、②所属・職名、③e-mail」を記入の上、E-mail: ga115@yamaguchi-u.ac.jp (担当:教育支援課教育企画係) あてに、2月21日(金)までに送信願います。

【問合せ先】 大学教育センター准教授 林 透 E-mail: toru-h@yamaguchi-u.ac.jp



## 【概要】

13:30～13:50 開会の挨拶及び趣旨説明

糸長 雅弘 大学教育センター長

13:50～14:30《第一部 基調講演》

「学修成果の評価の方法

～ルーブリックと評価課題の開発を通して～」

京都大学高等教育研究開発推進センター

松下 佳代 教授

[休憩]

14:40～16:55《第二部 グループワークセッション》

「授業科目『山口と世界』におけるルーブリック開発に向けて」

- (1)『山口と世界』授業担当者による授業設計説明及び振り返り
- (2)『山口と世界』におけるコモンルーブリック試作
- (3)全体共有及び質疑応答

16:55～17:00 閉会の挨拶・クロージング

## 【用語解説】ルーブリックってなに？

学修評価の基準の作成方法の一つであり、評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」で構成されます。記述により達成水準等が明確化されることにより、他の手段では困難なパフォーマンス等の定性的な評価に向くとされ、評価者・被評価者の認識の共有、複数の評価者による評価の標準化等のメリットがあります(中教審答申・用語集より)。